Creative Enzymes®

ネイティブポーキンペプシン

Cat. No. PHAM-242

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ペプシンは消化器系における主要なタンパク質分解酵素の一つです。消化の過程で、ペプシンは複□な食事由来のタンパク質に作用し、ペプチドやアミノ酸に分解され、腸の内壁によって容易に吸収されます。一般的な消化障害や胃液の生成が障害された結果に役立ちます。また、特にダイエット中にタンパク質の摂取が□加する際の貧血状態の治療において補助的な役割を果たします。ペプシンはタンパク質分析の研究ツールとして、また胸焼け、酸性消化不良、酸っぱい胃のための消化シロップとして使用されます。さらに、食欲を□進させるための錠剤や、チーズやその他のタンパク質を含む食品の調製にも使用されます。
別名	EC 3.4.23.1; ペプシン; 乳酸ペプシン; ペプシンフォルティオル; 胃底ペプシン; ペプシン乳酸エリクサー; P I; 乳酸ペプシンエリクサー; P II; ペプシン R; ペプシン D; ペプシン A

製品情報

種	豚の
由来	豚の胃
EC番号	EC 3.4.23.1
CAS登□番号	9001-75-6
活性	10000U/g